

子宮頸がんの予防と早期発見について

日本では毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、毎年約2,900人の女性が亡くなっています。20代・30代の若い世代で急増するのが特徴です。30代までに治療の過程で子宮を失う人が年間約1,000人いると考えられています。子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染により発症するがんで、ワクチン接種で予防できます。

ワクチンと検診の両輪で子宮頸がんを予防しましょう！

予 防

- ・ 小学校6年生～高校1年生相当の女子を対象に、子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を防ぐワクチン接種を実施しています。ワクチン接種については、かかりつけ医または接種医にご相談ください。
- ・ 平成9年度～平成17年度生まれの女子でHPVワクチンの接種を逃した方に接種機会の提供をしています。詳細は鏡野町のホームページをご覧ください。

早期発見

20歳になったら、子宮頸がんを早期発見するため、子宮頸がん検診を受けることが重要です。

検診では、前がん病変（異形成）や子宮頸がんが無いかを検査します。

年に1度の子宮頸がん検診を受けましょう！

風しん抗体検査・予防接種を無料で受けられます。

抗体検査は医療機関だけでなく健診機関でも受けることができます！

対象者

昭和37年（1962年）4月2日～
昭和54年（1979年）4月1日生の男性

期 間

2025年3月31日までに延長

- ▶ 風しんの予防接種は、現在予防接種法に基づき公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、**抗体保有率が他の世代に比べて低く（約80%）**なっています。
- ▶ 風しんは、感染者の飛沫（唾液のしぶき）などによって他人にうつる感染力が高い感染症です。**妊娠早期の女性が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群（眼や耳、心臓に障害がでること）になる可能性があります。**
大人になって感染すると、まれに重篤な合併症を併発することがあります。また、無症状でも他人にうつすことがあるので、感染を拡大させないためには**社会全体が免疫を持つことが重要です。**
- ▶ 対象年齢の男性にクーポン券を令和4年5月に発送しています。まだ抗体検査を実施していない方は、この機会にぜひ抗体検査を受けましょう。
- ▶ ※紛失等でクーポン券がない場合、鏡野町健康推進課で再発行ができます。
再交付申請に必要なもの：
①本人確認書類（住所地が分かるもの） ②印鑑 ③申請書（役場にありませう）
- ▶ クーポン券を利用すると、**抗体検査を病院や健診機関等**で、**無料**で受けることができ、抗体検査の結果十分な量の抗体がない方は、予防接種（麻しん風しん混合ワクチン）も無料で接種することができます。**予防接種**は当日の体調や基礎疾患等で受けられない可能性もあります。また、接種後に副反応が発生するおそれもありますので、必ず医師と相談してください。
- ▶ 詳しくは、健康推進課までお問い合わせください。

お問い合わせ先 鏡野町健康推進課 健康指導支援係 電話(0868)54-2025 FAX(0868)54-2891